

防犯隊



第4支隊による子ども達を犯罪から守るための街頭パトロールの様子です。(各地域の防犯隊が実施)



勝山警察署 署長
もりもと つよし
森本 力 氏

防犯隊の皆さまには、平素から防犯パトロールや祭礼警備など、安全で安心な勝山の実現に向けた各種活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

北陸新幹線の敦賀延伸や中部

縦貫自動車道の全線開通が予定されるなか、治安の更なる向上を図るため、今後とも勝山警察署の重要なパートナーとして活発な防犯活動を推進していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

防犯隊の活動紹介 / 警戒・警備活動

子どもへの声かけ事案などの被害防止、熊などが隠れやすい茂みや空き家を点検するため、街頭パトロールや雑踏警備などを行っています。

また、行方不明者捜索の協力や住民への情報提供を実施しています。

防犯隊への思いを聞きました



「犯罪のない 安全・安心なまちへ」

テレビのニュースで子どもや老人を狙った事件や事故の報道を見ると、勝山市でも決して他人事ではないとひしひしと感じています。

どのようにすれば、安全で安心に暮らせるのかを考えると、やはり、一人ひとりが常日頃、地域に目を配りながら「自分た

ちの地域は自分で守る」という意識を持つことが大切ではないかと思えます。

私たちは、地域防犯パトロールを通じて、犯罪のない安全・安心で住みやすいまちの実現を目指しています。

今後も、防犯隊一丸となって活動していきます。



勝山市防犯隊 副隊長
いけだ よしの
池田 義則 さん

消防団の活動紹介 / 災害対応

災害発生時には、消防署と連携して速やかな防御活動を行い、地域の安全を守ります。火災だけでなく、地震や風水害による被害の軽減やそれらに伴う救助活動など多岐にわたります。



広報活動

地域を災害から守るためには住民の防火意識の向上が不可欠です。そのために、防火パレードや高齢者宅訪問、街頭啓発などを積極的に行っています。



訓練

災害対応には専門的な知識と技術が必要です。消防団に入ると、基礎知識と技術を習得するための訓練を受け、その後も、災害対応力を高めるため、定期的な訓練を行っています。



普段は地域で仕事をする方々が災害時は地域を守る消防団に

「身近な人を助けたい」

「身近な人に何かあった時、すぐに動ける人になりたい」という思いで消防団に入りました。

火災警報機の点検などで、高齢者の方のお宅を訪問した際に、「ありがとう」と感謝された時にやりがいを感じています。

今後も救命講習などを受けながら、いざというときに周りの方を助けられるよう頑張ります。



女性消防団(入団4年目)
わたただ さやか さん

製造業で働く和多田さん
(両隣の方も消防団です)

「子どもに消防団の背中を」

幼いころに見た消防団として活躍する父の背中を、自分の子どもにも見せたいと思い、消防団に入りました。

今年は、念願の県操法大会にも出場でき、仕事をしながらの2か月間午前4時起き訓練はとても大変でしたが、今後役に立つ訓練ができればと思います。

災害時などで少しでも地域の力になれるよう頑張ります。



第7分団 班長(入団14年目)
やまうち だいへい
山内 大平 さん

建設業界で働く
山内さん